

総合戦略の構成内容（基本的方向等）について

将来像：地域に愛着を持ち、新たな価値を共に築くまち ～「ひと」に優しく、「癒し」のある『豊かな地域社会』の実現を目指して～

基本目標	重点項目	基本的方向	主要施策	備考
良好な生活機能 を確保する	1 ワーク・ライフ・バランスの適正化を図る 「子育て支援の充実」	◎若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうように、個人の気持ちを後押しし、選択の幅を広げる取組を推進する。 ◎子どもたちに幸せの実感が得られるように、親の子育てや家事に対する認識を高め、子育ての時間を豊かにする。 ◎多様なライフスタイルや社会情勢の変化に柔軟に対応するために、保育環境の充実やスキルの高い保育士の育成を図る。 ◎学校や地域、NPO、企業等の多様な主体との連携などにより、放課後の支援体制を確保し、子どもを安心して預けられる環境を充実する。 ◎子育て支援施設の有する情報を充実させ、関係機関との連携強化や一元的な対応により、子育て世代が利用したり、相談したりしやすい環境を整備する。 ◎幼少期から教育を通して、地域資源や社会資源を生かしたキャリア人材を育成し、地域への愛着や関心を高める。	結婚・出産支援の充実	追加
			乳幼児の健康の保持と増進	「乳幼児医療サービスの充実」からの名称変更
			多様な教育・保育サービスの提供	「多様な保育サービスの提供」からの名称変更
			学校教育・放課後児童対策の充実	
			子育て相談機能の充実	「生活相談支援の充実」からの名称変更
	2 2025年問題を見据えた 「医療・福祉の充実」	◎地域災害拠点病院である宮崎市郡医師会病院が十分な機能を発揮できるようにする。 ◎市民が安心して医療サービスを受けられるように、医師や看護師等の人材の育成や確保を図り、安定した医療提供体制を構築する。 ◎介護ニーズに適切に対応するため、介護に係る人材の育成を図るとともに、有資格者の就業に向けた取組を促進する。 ◎地域資源を有効に活用するとともに、地域や高等教育機関等との連携により、予防に重点を置いた取組を推進する。 ◎医療、介護、予防、生活支援、住まいにかかわる多様な主体が連携して、高齢者の住み慣れた地域での暮らしを支える地域包括ケアシステムを構築し、その取組を推進する。 ◎地域における医療や福祉の相談等の支援体制を確保するため、関係機関や公共施設等の機能の連携を強化するとともに、複合的な相談機能等の向上を図る。 ◎高齢者の地域や社会活動への参加に対して、インセンティブを働かせる取組を推進する。 ◎障がい者やその家族の地域生活における継続性を確保するとともに、障がい者の自立と社会参加を促進する。	高次医療サービスの提供	
			地域医療サービスの確保	
			地域包括ケアシステムの構築	
			障がい者の自立と社会参加の促進	「ノーマライゼーションの推進」からの名称変更
3 生活の質の向上と移住の促進を図る 「居住環境の充実」	◎空き家等の既存ストックの流通を促進するとともに、地域振興など他の施策と連携した取組を推進する。 ◎再生可能エネルギーを有効に活用し、域内における多様なエネルギーの効率的な運用を図る。 ◎安定した消防体制を構築するとともに、地域防災のリーダーとなる人材の育成、防災や減災に適切に対応する環境を整備する。 ◎ごみ減量やリサイクルに対する意識の向上を図るとともに、環境美化や河川浄化の取組を推進する。 ◎森林の保全を図るとともに、木材の多面的な活用を推進する。 ◎地域活動や市民活動を担う人材を育成するとともに、相互に活動内容を共有し、多様な主体の連携を促進することで、地域の活性化を図る。 ◎各地域のまちづくりの方向性である地域魅力発信プランに即した取組を支援するとともに、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネス等の視点を含めた取組を推進し、自立性の高いコミュニティの形成を図る。 ◎関係機関や関係団体が連携して、移住希望者が求める情報提供や地域の魅力発信を行うとともに、移住後のフォローアップ等の支援体制を強化する。	既存ストックの有効活用		
		スマートシティの取組の推進		
		防災対策の推進		
		環境保全の推進		
		地域コミュニティの活性化	「伝統文化の伝承や市民スポーツ等の振興」と一本化	
		移住・定住対策の推進	追加	
良好な就業環境を確保する	4 地域・企業ニーズに合った 「人材の育成」	◎教育機関や地元企業等の関係機関の連携により、地域や企業ニーズに合った人材を育成する。 ◎企業経営者の経営に対する認識やノウハウを高め、従業者のスキルアップを図るなど、質の高い人材の育成を促進する。 ◎企業のマネジメント層の人材を育成するとともに、外部からの人材登用を推進する。 ◎新規就農者の育成を図るとともに、農業の生産性を向上させる仕組みを構築し、農業所得を上げていく。 ◎地元企業の雇用環境などの見える化を推進し、地元企業への興味や関心を高め、就業につなげていく。	キャリア教育・学び直しの場の提供	「地域や企業ニーズに対応した人材の育成（キャリア教育・学び直しの場の提供）」からの名称変更
			地域や企業ニーズに対応した人材の育成等	「プランナー・コーディネーター等の人材育成」からの名称変更
			新規就農者・農業法人の育成	
			地元企業への就職を促す仕組みの構築	
	5 若い世代の定着や生産性の向上を図る 「雇用の場の創出」	◎異業種間のマッチング、波及効果の高い産業や事業に重点して投資することで、生産性と効率性を持った取組を推進する。 ◎的確に企業動向を収集し、都市部からの人の流れと地元企業との連携を意識した企業誘致を展開する。 ◎オープンイノベーションによる取組を推進し、各分野における課題の解決につなげていく。 ◎フードビジネスや観光産業等による異業種間の連携を強化し、域内で外貨を稼ぐ取組を推進する。 ◎官民における創業支援機関が支援体制を構築し、新たな市場の開拓に目を向け、創業前後における支援を充実することで創業率を高める。 ◎中心市街地に民間投資を生む環境を整備し、ICT産業や商業等の集積を図る。 ◎地域経済を維持・活性化していくために、女性や高齢者の雇用の場を創出し、労働力の確保を図る。 ◎給与などの処遇面における雇用条件の改善を図り、若い世代の地元への定着やU1Jターンを促進する。 ◎企業の多様な働き方を促し、ワーク・ライフ・バランスを推進することで、労働の継続性を高める。	生産性の向上・設備投資の促進	「農地の有効活用」と一本化
			企業立地の推進	
			創業者への支援	
			新商品・新技術等の開発	「異業種産業間の連携」と一本化
			中心市街地にぎわいの創出	
6 交流人口や販路の拡大を図る 「ブランド力の向上」	◎ターゲットを明確にした上で、適切な時期に適切な場所で、関心を持たせる情報発信を行う。 ◎観光資源のブラッシュアップや魅力ある観光商品の開発等を行うとともに、広域的な観光地づくりを推進することで、観光客の回遊性や滞在性を高める。 ◎スポーツキャンプや合宿、大会誘致を図るとともに、認知度のあるプロスポーツキャンプを生かし、誘客効果の高い取組を推進する。 ◎観光地や宿泊施設等での観光客の利便性を高める受入環境を整備する。 ◎アフターコンベンションの充実やユニークベニューの創出等を図り、MICEの誘致を推進する。 ◎農林水産物や加工品のブランド化を推進し、消費拡大を図るとともに、国内外への販路を拡大する。	宮崎らしさを生かした取組の推進	「効果的な情報発信」と一本化	
		スポーツランドみやざきの推進		
		観光客受入環境の充実		
		国内外の市場開拓		
地域特性に合った社会基盤を確保する	7 「広域公共交通網の構築とインフラの維持・整備」	◎都市機能の維持・強化を図るため、インフラの長寿命化、公共施設の総量の最適化や質を向上させる取組を推進し、民間活力を最大限に生かした管理運営を行うとともに、公民連携による公的不動産の利活用を図る。 ◎都市拠点間を結ぶ陸・海・空路における移動手段を確保するとともに、生活機能を維持していくため、地域の多様な主体が連携し、路線バスの維持やコミュニティバス等の運行など、地域における交通ネットワークを構築する。 ◎コールドチェーンを踏まえ、トラック輸送におけるネットワークの構築を図るとともに、モーダルシフトを推進することで、物流体制を確保する。	都市機能の集約化	「主要幹線道路等の整備と維持」と一本化
			広域公共交通網の構築	
			物流体制の整備	